

赤れんが

平成17年 春号

理念

鳥取県立中央病院は、県の基幹病院として良質で思いやりのある医療を提供します。

方針

- 私たちは、急性期の高度・特殊医療をおこないます
- 私たちは、地域の人たちの安心・安全のため、救急医療に取り組みます
- 私たちは、地域の医療機関との連携強化に努めます
- 私たちは、地域の人々が納得される医療を行います
- 私たちは、組織人としての役割を遂行できるよう、研修・研鑽します

- 巻頭「血液の病気を治療する」
- 特集「骨髄移植」
- トピックス
- 全面院外処方
- 診療案内他



「血液の病気を治療する」

鳥取県立中央病院
院長 武田 倬

院長 武田 倬



血液の病気の専門医は全国的に不足している分野の一つです。もちろん鳥取県も例外ではありません。東部では「当院のみ」という現状です。

このため、当院には鳥取県東部だけでなく、県中部から、そして兵庫県北部の但馬地区からも、地域の先生方から血液疾患の患者さんをご紹介いただいています。

現在、当院には田中孝幸医師と小村裕美医師の2人のベテラン専門医がいます。他の疾患と同時に血液学の進歩も著しく、治療に緊急を要するものや造血幹細胞移植のように複数の医師の援助を必要とするものなど忙しく活躍しています。

治療の対象となる患者さんがあっても二人では十分な対応が困難なこともあり

ます。幸い、平成十七年一月から鳥取大学に血液専門の岡崎教授が赴任され、先日、当院におみえになりました。熱心な先生で、今後大学病院と県立中央病院との間で、血液疾患の患者さんの治療を連絡・協力してやっていくことが話し合われました。そうすれば当院の機能を生かして、さらに血液医療が進歩することが期待できます。

鳥取県立中央病院は、県民の皆さまに安心して、質の高い医療を提供できるよう病院をあげて努力していくつもりです。ご期待ください。



「造血幹細胞移植」

内科 田中孝幸

■血液のがん

人の体の骨の中心の骨髓に「造血幹細胞」とよばれる全ての血球を作り出す細胞があります。しかし、それが正常に機能しなくなる病気が（白血病、再生不良性貧血等）や悪性リンパ腫など抗がん剤が有効な悪性腫瘍になった場合、「造血幹細胞移植」（注1）が必要です。

■移植の方法

この治療法では、まず、大量の抗がん剤（超大量化学療法）投与に加えて、全身放射線照射を行い、体内の異常な細胞とともに、自分の造血幹細胞を無くした後、正常な造血幹細胞を輸注することにより疾患の完治を目指します。

■当院の役割

当院では造血幹細胞移植に積極的に取り組んでおり、現在までに57例（骨髓移植3例、末梢血幹細胞移植2例）の移植を行なっております。また、当院で入院治療を行なう方だけでなく、鳥取県東部唯一の骨髓移植推進財団の骨髓採取認定施設として、骨髓バンクを通じての移植ドナーの骨髓採取にも協力しております（現在までに25例採取）

■集学的治療

造血幹細胞移植は、移植を行なう内科や小児科の医師だけでなく、あらゆる部門のスタッフの協力が必要な集学的治療の代表です。また、骨髓バンクを通じての移植の場合、コーディネーターの活動は欠かされません。

最近では、抗がん剤の量を減らし、比較的高齢者でも施行可能なミニ移植も増えてゆくと準備中です。今後、各部門と力を合わせて、造血幹細胞移植を推進してまいります。

(注1) 造血幹細胞移植は、採取の方法により、

- ① 骨髓移植
全身麻酔下で骨盤から針を刺し、骨髓細胞を抜き出します。
- ② 末梢血幹細胞移植
薬によりドナーの血液中の造血幹細胞を増加させ、腕から採取します。
- ③ 臍帯血移植
出産時の胎盤から臍帯血を採取し、移植します。

などに分類されます。

特集

骨髓移植 (造血幹細胞移植)

チーム医療

今回は、当院の特徴である血液疾患の治療、特に造血幹細胞（骨髓）移植にスポットをあてました。

骨髓バンクから登録のお願い!

日本では毎年2千人近くの方が骨髓移植を必要とする病気になっています。移植に適した骨髓の確立は、数百分の1から数万分の1で、多くの方の登録が必要です。

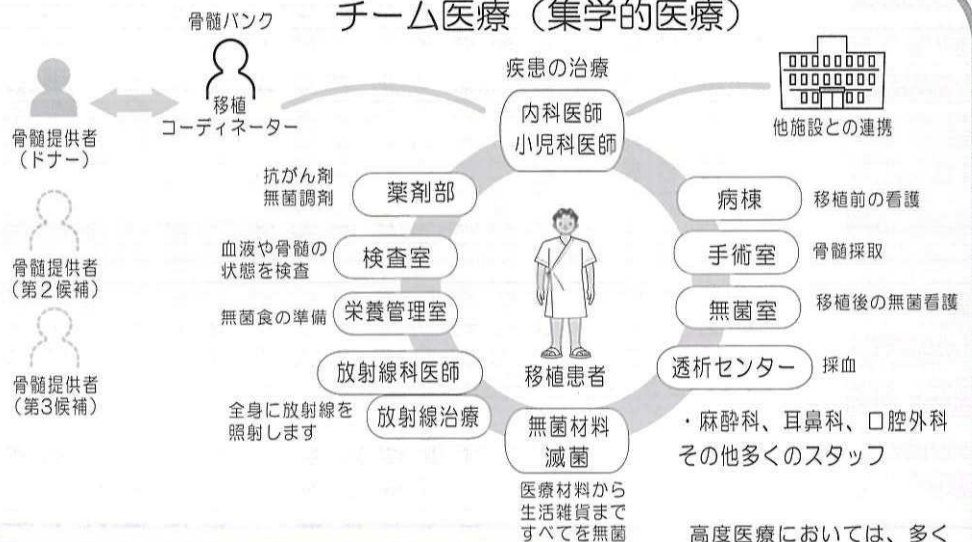
5mLの採血から始まる命のボランティア。骨髓バンクはあなたの愛を待っています。



鳥取県の骨髓バンク登録窓口

- 東部：血液センター
住所：鳥取市江津370
電話：0857-24-8101
 - 中部：倉吉保健所
住所：倉吉市東巖城町2
電話：0858-23-3144
 - 西部：鳥取大学附属病院
住所：米子市西町36-1
(血液センター内) 電話：0857-24-8101
- ◎ご質問、お問合せ、資料請求
骨髓バンクフリーダイヤル
電話：0120-445-445
URL：http://www.jmdp.or.jp

チーム医療（集学的医療）



●ドナー経験者から

骨髓バンクの登録は、普通の血液検査と同じような血液採取だけで、簡単にできました。登録後、3年ほどしてドナー候補として連絡があり、骨髓採取での移植を行いました。おしりの少しあたりには2箇所針を刺し、骨髓採取をおこなったようです。数日、腰痛のような痛みはありましたが、「自分の骨髓が誰かの役に立てる」という喜びの方が大きく、気になりませんでした。3日目には仕事に復帰しました。



高度医療においては、多くの分野にまたがる協力が重要です。骨髓移植では、抵抗力のさがった移植患者を無菌室で管理するため、医療に関するものだけでなく、患者の食事から生活に関わるすべてのものを無菌管理する必要があります。

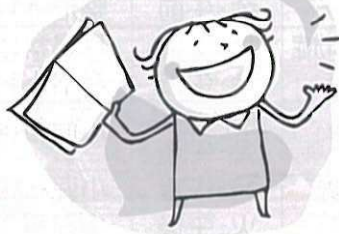
院内トピックス

病棟ナースステーションをリニューアルしました！

各階の東病棟のナースステーションの改修が完了しました。今まであった壁をとりはらい、看護師、医師等と直接話せる、明るいオープンカウンターになりました。これまで以上に、患者様とのコミュニケーションを図り、よりよい病院にしていきたいと思えます。お気軽に声をおかけください。17年度は西病棟で改修予定です



オアシス文庫



中央病院では、6階病棟南側に「オアシス文庫」を設置しています。入院中の患者様の気分が少しでもやわらぐよう、文庫本や絵本などを、座って読めるスペースをつくり、多くの患者様にご利用いただいております。なお、ただいまご寄贈いただける本を募集しております。みなさまのあたたかいご協力をお願いいたします。お問合せは当院事務局総務課まで。

当院では、4月1日より、お薬を全面的に院外処方せん化します。原則、院内での処方ではできなくなります。

処方薬局



現在、東部地区で院外処方受け入れを実施している薬局は87ヶ所あります。お近くの薬局を「かかりつけ薬局」として御利用下さい。

院外処方って何？

病棟の処方せんをもとに「かかりつけ薬局」が、お薬を処方します。

※「かかりつけ薬局」を決めていただくことで、他の病院のお薬や、購入市販薬の重複や飲み合わせをチェックし、きめ細やかな服薬指導が可能となります。

処方せんを受け取ったら...

外来から処方せんを受け取ったら、「直接」または「ファックス」で指定の薬局へ...

4月から
全面院外処方
になります



わからないことがあったら...

院外処方に関するお問合せ・ご相談は「院外処方相談室」(薬剤部窓口横)へ

※当院の医師、薬剤師がご相談をお受けいたします。お気軽においで下さい。

※院外処方せん受け入れ薬局の場所、連絡先、営業時間、薬局ごとの各種サービス(自宅配送、ドライブスルー、バリアフリーなど)のご案内もいたします。

- ファックス送信サービスの御案内
※無料です。総合受付向かいの「処方せんファックスコーナー」を御利用下さい。
- 処方せんの有効期限は、発行日を含めて4日です。
- 代理の方でもお薬をお受取いただけます。

外来診療日程表

(平成17年 4月 1日～)

名称	月	火	水	木	金
総合診療科	田中孝	足立	*浦川	*野坂	小村
	杉本	清水辰	田中究	榎崎	岡田
内科	榎崎	榎崎	田中孝	足立	清水辰
	*岡本	田中孝	岡田	小村	杉本
	田中究		武田倬	山本寛	
循環器科	那須	遠藤	吉田	吉田	菅
	吉田	吉田	*菅	遠藤	那須
		那須			遠藤
神経内科	中安	土居	中安	土居	中安
	小出		土居		小出
精神科	松林	松林	松林	松林	松林
小児科	常井	星加	宇都宮	星加	宇都宮
	宇都宮	豊島	堂本	常井	堂本
			星加	豊島	常井
外科・小児外科	岸	澤田	清水	河村	*中村
整形外科	山本哲	山本清	鱈(すずき)	服部	山崎
	山本清	山崎	山本清	山本哲	山本哲
	服部	鱈	山崎	鱈	服部
形成外科	坂井		坂井		坂井
脳神経外科		*宇野		宇野	
	稲垣	*立林	稲垣	立林	稲垣
胸部外科	宮坂	谷口		森本	
		*中嶋			
泌尿器科	根本	渡邊	*太田	渡邊	根本
皮膚科	河上	河上	三原	河上	河上
		河上			
産婦人科	皆川	大野原	池野	堀江	皆川
	大野原	池野	皆川	皆川	大野原
	池野	堀江	大野原	池野	堀江
眼科	伊藤	川口	伊藤	川口	川口
耳鼻咽喉科	竹内	竹内	大学医師	竹内	大学医師
	鈴木(午後)		鈴木		鈴木
放射線科	藤原	中村	中村	小川	藤原
麻酔科	内田	坂口	内田	小笹	内田
口腔外科	*倉立	倉立	倉立	倉立	倉立
	池田	池田	池田	池田	池田
人間ドック	*佐々木	野坂	根本	岡本	佐々木

★は、新たに採用された医師です。

鳥取県立中央病院
外来診療受付時間 8:30~11:00

※外来は基本的に予約制です。

予約に関する変更・お問い合わせは午後2時から受け付けます。

※緊急手術等で担当医が変更になることもあります。

面会時間 13:00~20:00

専門外来等

名称	曜日	担当医
ペースメーカー	水・午後	循環器(菅)
アトピー	水・午後	皮膚科(河上)
尿失禁	水	泌尿器科(渡邊)
乳腺	火	胸部外科
スポーツ	水・午後	整形外科(鱈)
リウマチ	金・午前	整形外科(山本哲)
アレルギー・花粉症	月・午後	耳鼻科(鈴木)
更年期	金・午後	産婦人科
発達	第1・2・3 金・午後	小児科(豊島)
小児肝炎	月・午後	小児科(星加)
乳児健診	火・午後	小児科
妊婦教室Ⅰ	第2水曜 午後	産婦人科
妊婦教室Ⅱ	第3水曜 午後	産婦人科 小児科
安産教室	第4水曜 午後	産婦人科
内分泌・不妊症	月・水・金 午後	産婦人科(大野原)
産科・周産期	月・水 午後	産婦人科(池野)
婦人科腫瘍	水・午後	産婦人科(皆川)
網膜・硝子体外来	月	眼科(伊藤)
思春期外来	月・午後	精神科(松林)
物忘れ	火・午後	精神科(松林)
睡眠障害外来	水・午後	精神科(松林)

春季異動のお知らせ

転出された医師

新しくこられた医師

内科：澄川 崇
青木 美由紀
麻酔科：土屋 律子
脳神経外科：大竹 実
福永 典子
歯科口腔外科：谷尾 和彦
胸部外科：丸本 明彬
循環器科：森谷 尚人
小児科：近藤 章子

内科：山口 耕介
佐々木 一彦
野坂 玲子
岡本 健志
麻酔科：南 浩太郎
脳神経外科：立林 恭子
宇野 哲史
歯科口腔外科：倉立 至
胸部外科：中嶋 英喜
循環器科：菅 敏光

救急科に新しい医師が着任しました！！

17年2月より、救急科専任の岡田医師が着任いたしました。
救急科は鳥取県東部地域の救命救急センターとして、緊急度の高い治療をおこなう専門の診療科です。

今後とも各科の専門医と連携して重症例の救命率向上を目指し、地域の救命救急医療への貢献に努めてまいります。

院長 武田 倬

発行 鳥取県立中央病院 (〒680-0901 鳥取市江津730)
電話 0857-26-2271 ファックス 0857-29-3227
ホームページ：<http://www.pref.tottori.jp/chuoubyouin/>
E-mail：chuoubyouin@pref.tottori.jp